科学英語（２単位）

担当者氏名　　岩永　弘人

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

〇科学論文(Nature や New Scientist などのレベル)を、辞書と文法書を使えば、読み、理解することができるような、柔軟な語学力の養成をめざす。講義の具体的内容は、林学関連の文献を、輪読形式で読み、説明や要約を求めることが中心となる。
〇　その際、文章の形式や専門用語などの使用法にも留意して、林学のエキパートとして遜色のない英語力を身につけてもらえるよう考慮したい。
〇発信型の講義も２、３時間とり入れ、それぞれの研究分野に関して、短いプリゼンテーションを行なってもらう。
〇全体として言える事は＜科学英語＞という特別な英語があるわけではない（ちょうど＜科学日本語＞がないように)、という事を常に念頭において、英語の基礎力（特に単語力と構文力）を確実に自分のものにする事を日々心がけて欲しいと思う

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

英文読解　　パラグラフリーディング　　パラグラフライティング　　英語によるプレゼン
英語に質疑応答　　基礎英文法の復習　　基礎構文の復習　　辞書の適切な使い方

◆授業の進行等について

	テーマ	内　容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
１	ガイダンス	必要な辞書の紹介、図書館、ネットの活用法	
２	読解１	森林情報文化分野の英語　１	２～１０回
３	読解２	森林文化情報分野の英語　２	自分の専門分野でなくとも、必ず予習し、また講義の際も必ず辞書を持参すること。
４	読解３	森林環境保全分野の英語　１	
５	読解４	森林環境保全分野の英語　２	
６	読解５	森林資源生産分野の英語　１	
７	読解６	森林資源生産分野の英語　２	（予習の目安２時間）
８	読解７	森林資源利用分野の英語　１	
９	読解８	森林資源利用分野の英語　２	
１０	読解９	総合的内容の英語　１	
１１	読解１０	総合的内容の英語　２	１１回プレゼンの原稿を作っておくこと。
１２	プレゼンの準備	プレゼンの準備（各自の内容に応じて個別に対応）	
１３	プレゼン１		１２～１３回
１４	プレゼン２	プレゼン１（各自の専門についての発表、質疑１）	当日必要な配布資料があったら人数分作っておくこと。また特殊な用語などは前もって黒板に箇条書きをするなど工夫すること。
１５	プレゼンの総評	プレゼン２（各自の専門についての発表、質疑２） まとめ	（予習の目安、トータルで１０時間）

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料

書名／著者／発行所（発行年）　プリント使用

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

出席（２０）　訳の割当て（２０）　プレゼン（６０）

◆オフィスアワー

木曜日３限の時間帯（１４４０～１６１０）

◆その他受講上の注意事項

〇辞書を必ず持ってくる事。